

# 「学び合い」成果報告

多久市 3小中で公開授業

多久市

多久市内の小中学校の教諭らでつくる多久市学力向上研究会（会長・片瀬幹生緑が丘小学校長）が、市内3小中学校で公開授業を開いた。学力の定着を目指し、児童生徒が互いに教え合う「学び合い」などの取り組みを紹介した。

東部中、東部小、納所小で実施、大分県日田市など県内外から教育関係者ら約300人が参加し



友達にわかりやすく教える「学び合い」を  
実践した、中学1年生の英語の授業  
＝多久市の東部中

や、規則正しい生活を送るために家庭と連携を密にするなど研究成果が報告された。

東部中1年の英語の「学び合い」の公開授業

では、問題が分からな  
い生徒は机  
を離れ、積  
極的に他の  
生徒に質  
問、アドバ  
イスも交わ  
されてい  
た。  
同市では  
2013年  
4月に始ま

る小中一貫教育を控え、9年間を通じた教育研究を進めている。片瀬会長は「子どもたちが主体的に学び合える教育のあり方について考えていきたい」と話す。（星野）

H21.11.12

西日本新聞